

# Rapport

2022  
Number

118

多摩大学 | 広 報 誌 |

## Vol.118 Contents

### [アクティブ・ラーニングプログラム]

多摩 BG 倶楽部/飛騨高山 .....	02
インターゼミ夏季合宿 .....	03
体育会フットサル部 活動報告 .....	03
〈経営情報学部〉後援会教育セミナー .....	04
〈グローバルスタディーズ学部〉後援会定期総会 .....	04
2022年度 第1回 SRC .....	05
〈グローバルスタディーズ学部〉	
ホスピタリティ観光セミナー/藤沢市地域活動 .....	06
新カリキュラム報告 .....	07
〈経営情報学部〉長島剛ゼミ メルカリ教室 .....	07
【産官学民連携センター】マチカドこども大学プレ開校 .....	08
【お知らせ】多摩祭/SGS Festa .....	08

## 「多摩ブルー・グリーン倶楽部 会員企業レポート」

2022年5月20日、アクティブ・ラーニング（AL）プログラム「多摩ブルー・グリーン倶楽部会員企業レポート」がスタートしました。今年で2年目となる本プログラムでは、学生がペアになり、多摩ブルー・グリーン倶楽部（多摩信用金庫（たましん）主催「多摩ブルー・グリーン賞」の受賞企業169社で組織、以下、BG倶楽部）の会員企業を取材し、その企業を紹介するレポートを執筆します。完成したレポートはBG倶楽部のホームページにアップされます。

学生は、企業の取材を行うための基礎知識を学修するために、様々な分野のゲスト講師からビジネスマナーやインタビューの方法などを学び、会社訪問や取材などの実践的な経験をしながら、社会人の方々との交流を図ります。

初回講義では、担当教員からプログラムの概要説明と取材企業（8社）の紹介があり、学生のチーム分け、チームの担当教員及び取材企業の決定などを行いました。

第2講では、取材場面を想定して「大学とプログラムの紹介」を行ったあと、企業の特徴・特色を把握するための企業研究を行いました。

第3講では、多摩信用金庫の方から、企業訪問時の挨拶・名刺交換などビジネスマナーについての指導を受け、ロールプレイング実践を行いました。

第4講では、プロのライターの方から、インタビューの方法と企業紹介の執筆について学びました。

第5講では、第1クールの振り返りを行い、成功と失敗の話をお互いに共有したことで次回の取材のヒントを得ることができました。

今後は、9月に第2クールの振り返りと発表を行い、学生と教員の投票で優勝チームを決定し、優勝チームは12月に本学にて開催される「アクティブ・ラーニング発表祭」やBG倶楽部の例会にて成果報告を行う予定です。



事前学修～グループワーク



事前学修～名刺交換



企業訪問

## 「飛騨高山地域の地域産業・観光研究」

アクティブ・ラーニング（AL）プログラム「飛騨高山地域の地域産業・観光研究」を2022年6月26日（日）～6月28日（火）に実施しました。

本プログラムは、「一般財団法人 飛騨高山大学連携センター」、「久々野まちづくり協議会」と連携し、都市部に居住する学生が飛騨高山に赴き、地域の方々とともに地域の課題解決に取組み、学生目線での地域活性化に向けた提案を行うことを目的としています。

6年目を迎えた今年度は帝塚山大学の教員・学生も参加し、総勢21名の学生と5名の教職員が参加しました。

今回のプログラムは、飛騨の駄菓子製造・販売業の打保屋とコラボレーションし、市場調査として重要伝統的建造物群保存地区などを中心にフィールドサーベイを行ったほか、当該企業の既存商品の見直しや改善のため、アンケートおよびヒアリング調査を実施しました。

また、打保屋の工場の視察や高山市立久々野中学校の3年生と意見交換し、地元の生徒ならではの意見をいただきました。

今後は得られたデータを持ち帰り、分析した上で、結果の提示・共有、および新規提案を行います。



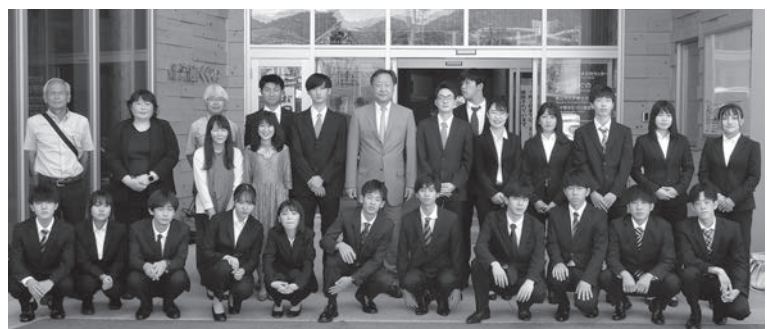
現地での打ち合わせの様子



久々野中学校 意見交換



打保屋 工場視察



集合写真

## インターゼミが箱根にて夏季合宿

2022年8月24日(水)～8月25日(木)、インターゼミ合宿が箱根にて行われました。

インターゼミ(社会学研究会)は、経営情報学部とグローバルスタディーズ学部の学生に大学院生及び卒業生を加えた学部横断、学年縦断型の寺島実郎学長直轄のゼミナールです。10名～20名単位で4つのチームを作り、研究テーマを設定して文献研究とフィールドワークを通じてチームとして課題に対する論文を1年間かけて書き上げます。

サービス・エンターテインメント班、デジタル・トランスフォーメーション(DX)班、アジアダイナミズム班、多摩学班の4つのグループごとに中間発表を行い、質疑応答では活発な質疑が飛び交いました。寺島学長からは、グループ毎に的確な評価と研究の方向性に対してアドバイス、暖かい激励がありました。緊張感も漂う中、チーム一丸となって行う共同研究を深める貴重な場となりました。

文献調査やフィールドワークの実地調査はコロナ禍においても工夫を凝らしながら行っており、「ゼミカが多摩大」を思わせる好発進の内容となりました。

秋学期に入ると論文原稿の完成に向けて各チームでは熱のこもった議論が交わされます。

### 〈中間発表研究内容〉

○サービス・エンターテインメント班：「Z世代」からみたZ世代研究

○デジタル・トランスフォーメーション(DX)班：教育におけるDX

○アジアダイナミズム班：華僑とモンゴル帝国史

○多摩学班：多摩圏の防災対策についてー現状と今後の展望ー



寺島実郎学長講話



サービス・エンターテインメント班



デジタル・トランスフォーメーション(DX)班



アジアダイナミズム班



多摩学班

## 多摩大学 体育会フットサル部

### 第18回全日本大学フットサル大会 第3位!

多摩大学体育会フットサル部は、2022年8月26日(金)～28日(日)に岸和田市総合体育館(大阪府)で3年ぶりに開催された「第18回全日本大学フットサル大会」で、見事全国第3位となりました。今年で創部10年目を迎えるフットサル部は、東京都代表、関東地域第2代表として勝ち進み、全日本大学フットサル大会3位決定戦で東京国際大学サッカー部に勝利し、全国3位となりました。準決勝では北海道大学に先制点を決めましたが、その後追いかける展開が続き、最後まで力を振り絞り自分達のスタイルを崩さず戦いました。4年生はこれで引退となり、それぞれの道に進むこととなります。

これからは新体制となり、今後もリーグ戦などが続きます。引き続き、熱い応援のほどよろしくお願いいたします。

#### 【試合結果】

- 8月27日(土) 12時00分キックオフ  
vs 長崎大学フットサル部フォルツァ(九州地域代表/長崎県)  
○ 5-1 〈得点者〉辻、大野×3、井戸口
- 8月27日(土) 16時00分キックオフ  
vs 北海道大学エスペランサ(北海道地域代表)  
● 4-5 〈得点者〉峰嶋×3、森谷
- 8月28日(日) 10時30分キックオフ  
vs 東京国際大学サッカー部(関東地域第1代表/埼玉県)  
○ 5-0 〈得点者〉峰嶋、大野×2、荒木、菅原



## 教育セミナー・後援会定期総会 開催

2022年6月26日、多摩キャンパス101教室にて、経営情報学部保証人（ご父母）様を対象とした「2022年度教育セミナー・後援会定期総会」（後援会主催）を開催しました。教育セミナーでは、教員による教育方針説明・新コースの紹介、学生による学修成果報告がありました。また、セミナー終了後には後援会定期総会が開催され、2021年度事業報告案および決算報告案と2022年度事業計画案・予算案の承認、後援会役員の選出が行われました。

### ○教育セミナー

#### (1) 経営情報学部の教育方針 副学長・経営情報学部長 杉田 文章

経営情報学部は、経営学（企業などの組織を成功させる諸科学）、経営情報学（情報技術とその生かし方）を学ぶ学部ではあるが、学生にとっては、人間と社会を知ること、働きかける対象を知ること、自分自身の成長も必要であること。なぜこの仕事に就くのか、自分たちが進んでいく社会はどのようなところか、学生の気づきと動機づけを深めて就職へと導いていく。資格取得のサポート、実社会で活躍する先生方による講義や講演、企業との連携プロジェクトなど、学生が社会で必要とされる人材へと成長するための多摩大学の取り組みについて説明しました。

#### (2) 新コースの紹介 経営情報学部教授・各コース長 出原 至道・小林 英夫

来年度から始まる2つの「ジョブ型人材育成コース」について紹介しました。「先端的マーケティング心理コース」は、人間心理とデータを使いこなし、顧客の視点をもったエンジニアになるためのコース（出原コース長）。「実践的ビジネスエンジニアリングコース」は、大学院レベルの実践的経営学を学び、即戦力のビジネスパーソンとなるためのコース（小林コース長）。

#### (3) 学修成果報告 経営情報学部 学生2名

経営情報学部4年の大澤瞬さんは、入学から就職内定までの自身の活動、松本祐一ゼミにおける取り組み「みんなでつくる奥多摩」を報告。同学部3年の尾崎真由子さんは、入学した動機と大学生活で成長したこと、出原至道ゼミの特徴とそこで学び得たことを発表しました。

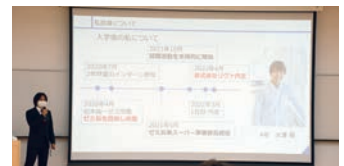


杉田副学長による説明



出原コース長

小林コース長



学生による学修成果報告



後援会定期総会の様子

## 第14回 後援会定期総会 開催

2022年6月11日、湘南キャンパスE301教室にて、グローバルスタディーズ学部「第14回後援会定期総会」を開催しました。後援会定期総会では、2021年度事業報告案および決算報告案、後援会役員の選出、2022年度事業計画案および予算案が承認されました。定期総会終了後には、各委員長からの学生生活、留学、就職、学業についての説明、新美潤学部長による講演「ロシアのウクライナ侵攻について」がありました。

#### (1) 学生生活について グローバルスタディーズ学部准教授・学生委員長 竹内 一真

『大学生』への関わり方」と題し、1. 発達段階における「青年期後期」の特徴、2. 大学生のご両親とのトラブルについて取り上げ、保証人の方が大学生に接する際の心構えなどを話しました。

#### (2) 留学について グローバルスタディーズ学部専任講師・国際交流委員長 李 崗

多摩大学の留学は、HOP（海外研修）、STEP（短期留学）、JUMP（長期留学）の三段階。キャンパスでは多様な国際交流に参加、海外の大学生とオンライン交流会を実施、国際交流スペースでの外国人留学生との外国語コミュニケーションなど本学部のグローバルな環境を紹介しました。

#### (3) 就職について グローバルスタディーズ学部教授・就職委員長 堂下 恵

過去5年間の就職状況、現4年生の内定状況、採用活動の変化、ポストコロナの就職活動のキポイント、コロナ禍の影響、本学部の就職支援プログラム等について説明しました。

#### (4) 学業について グローバルスタディーズ学部教授・教務委員長 太田 哲

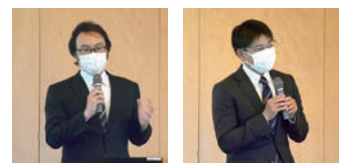
本学部で学べること、学びの特徴、新入生の時間割、単位取得の注意点、進級要件と卒業要件、GPA、成績優秀者奨学金制度、2022年新カリキュラム、グローバルキャリア育成プログラム、高度観光・サービス人材育成プログラム、中・高英語教員育成プログラムについて解説しました。

#### 講演「ロシアのウクライナ侵攻について」 グローバルスタディーズ学部長 新美 潤

侵攻の目的、侵攻の国際上の問題点、ロシアの軍事力と経済力、NATO（北大西洋条約機構）加盟国の東方拡張、北朝鮮に対する国連の制裁など、元外交官ならではの視点から語りました。

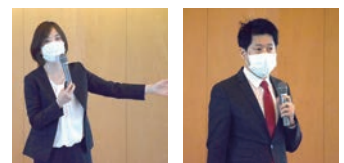


後援会定期総会の様子



竹内学生委員長

李国際交流委員長



堂下就職委員長

太田教務委員長



新美学部長による講演

## 2022年度第1回SRC (Student Research Conference)

2022年7月30日(土)、多摩キャンパス 201 教室、212 教室、221 教室にて、SRC (Student Research Conference) が開催されました。SRC は経営情報学部の学生がホームゼミにおける研究成果を発表する場で、年 2 回 (夏・冬) 行っています。今回の SRC では 44 件の発表があり、1 件につき M10 分、L15 分の発表時間が与えられ、教員を中心に様々な質問や意見、アドバイスがありました。



教室	時間	名前	タイトル	ゼミ名
201	M	井上 寛太	卒論 コロナ禍における自動車産業の今後について	久保田貴文ゼミ
	M	高 航太	紙媒体の書籍と電子書籍の現状と比較	久保田貴文ゼミ
	M	守屋 博喜	卒論 筋トレに対する意識と変化	大森拓哉ゼミ
	M	星野 岳	卒論 映画館とサブスクリプション	大森拓哉ゼミ
	M	飯田 葵大	日本に求められる政治的リーダーシップ	大森拓哉ゼミ
	L	彭麟	これからの e スポーツ業界について	大森拓哉ゼミ
	L	佐藤 涼太	e スポーツ、ゲームの歴史について	大森拓哉ゼミ
	L	河内 颯斗	〈卒論〉 飲酒による影響	大森拓哉ゼミ
	L	谷部 翼	ファーストファッションはなぜ多くの人に支持されるのか	大森拓哉ゼミ
	L	山本 舞	クズ男にハマらない恋愛とは	大森拓哉ゼミ
	L	木村 達希	オタクの消費行動の要因	大森拓哉ゼミ
	L	BUI Sylvain	Detection of walking action using the movement of VR headset	出原至道ゼミ / ESIEA
	M	浜崎 峻、藤森 龍	災害に関するボランティア活動について	問題解決型データ分析実践
	M	杉山 慶恵、井上 美夏	ボランティア活動は年収や幸福度に影響するか	問題解決型データ分析実践
	M	田中 佑季	寿命とたんばく質との関係	問題解決型データ分析実践
	M	濱 大貴	VR フェスタの実行を振り返って (計画実行録) 【全体管理チーム】	彩藤ひろみゼミ
M	上原 航祐、ほか	VR フェスタを振り返って～VR 遊園地コースター作成プロジェクト～	彩藤ひろみゼミ	
M	久永 椋太、蜂谷 孔琳、ほか	VR フェスタ 2022 を振り返って～お祭り迷路作成プロジェクト～	彩藤ひろみゼミ	
M	佐藤 陸斗、大國 心桜、ほか	Tamauni Girls Collection を振り返って～バーチャルファッションショーイベント～	彩藤ひろみゼミ	
L	長田 華山	日中の農業の現状と課題 - 中国のスマート農業事例から学ぶ -	バトルゼミ	
L	木村 蓮、猪俣 真太郎	日本の少子化と外国人労働者の導入	バトルゼミ	
L	長谷川 亘、東 開世	コロナ禍のシンガポールの観光業の日本への影響	バトルゼミ	
212	M	阿部 翔太	〈卒論〉「タテ社会の人間関係」について 今後の予定	高橋恭寛ゼミ
	M	池末 英寿	テニスの起源と展開	高橋恭寛ゼミ
	M	鈴木 海渡、田中 翼、横尾 凌	地域ブランドの成功条件	中庭光彦ゼミ
	L	篠原 光	地方都市のこれからのコンパクトシティ像 三井不動産柏の葉エリア視察報告	中庭光彦ゼミ
	L	小泉 翔太	製紙産業と地域経済の関係 - 富士市を例に	中庭光彦ゼミ
	L	長谷川 雄大	多摩川上流の水道水源林について	中庭光彦ゼミ
	L	今別府 大志、青木 柊吾、荒金 匠、峯脇 由暉、村山 晃大、吉田 武司	観光客数と移住者の関係性	中庭光彦ゼミ
	M	松本 環弥	〈卒業研究〉 介護職におけるストレスとの向き合い方 (案)	梅澤佳子ゼミ
	M	小池 翼	〈卒業研究〉 組織におけるコミュニケーションの関係性 (案)	梅澤佳子ゼミ
	M	宮腰 裕	〈卒業研究〉 ゼミ活動から見た新たなリーダーシップの重要性 (案)	梅澤佳子ゼミ
M	佐藤 史彬	〈卒業研究〉 鉄道の駅、ホームにおける視覚障がい者への対策 (案)	梅澤佳子ゼミ	
221	L	高 秀柄、小高 玲那、清水 千伶那、中西 昂翼	国別発表 〈アメリカ班〉 アメリカ観光について	水盛涼一ゼミ
	L	闊 文佳、野中 柊希、田中 彩佳、寺垣 美南、溝尻 冨夏、諸橋 凜	国別発表 〈イギリス班〉 イギリスへ行く！	水盛涼一ゼミ
	L	磯波 源太、内田 裕美、王 柯皓、備前 遥菜	国別調査 〈イタリア班〉 イタリアの魅力と強み	水盛涼一ゼミ
	L	近藤 雄太	目指せモテ男	大森拓哉ゼミ
	L	関谷 歩夢	なぜ異性に引かれるのか	大森拓哉ゼミ
	L	高橋 大樹	髪型によって人の印象は変わるのか	大森拓哉ゼミ
	L	鶴屋 隆之介	GI で回収率 100% を超える方法	大森拓哉ゼミ
	L	外山 依瑠奈	ディズニーと USJ の魅力の違い	大森拓哉ゼミ
	L	横山 歌穂	SNS 利用と承認欲求の関係	大森拓哉ゼミ
	S	櫻木 悠一郎	ASMR の睡眠効果について	大森拓哉ゼミ
221	M	竹内 啓恭	野球の認知度	大森拓哉ゼミ
	L	出繩 竜也	〈卒業論文〉 サウナについて	大森拓哉ゼミ
	L	小原 直香、大原 千夏	台湾と日本の Z 世代間の交流	バトルゼミ
	L	佐藤 雅哉、池田	タイの観光から見る日本の観光業の将来	バトルゼミ
	L	長田 華山、山田 ゆい、森 巧光、添田 鈴香	ブルネイの経済と観光	水盛涼一ゼミ
	L	藤原 由翔、小野 寛司、鈴木 一誠、藤田 朱夏、山口 智弘	国別調査 〈ブラジル班〉 ブラジルから日本への移住と労働	水盛涼一ゼミ
	L	城所、藤井	イスラム教徒の食事制限と日本観光	バトルゼミ
	L	宮脇、酒匂	日本の少子化問題～学費制度と関連づけて～	バトルゼミ

## グローバルスタディーズ学部主催「ホスピタリティ観光セミナー」を開催

2022年6月2日(木)から7月21日(木)まで、藤沢商工会議所ミナパーク(神奈川県藤沢市)において、本学グローバルスタディーズ学部主催「ホスピタリティ観光セミナー」(全8回、後援:藤沢市、藤沢商工会議所、藤沢市観光協会)を開催しました。

本セミナーは、新型コロナウイルスと共存することを念頭に、藤沢市のボランティア・ガイドおよびホスピタリティ観光に興味をもちの一般の受講者を想定し企画されました。

本セミナーは、藤沢を中心とした湘南地域に関するインバウンドの取り組み、観光地での医療と防災(一般財団法人日本総合研究所)、ホスピタリティ(株式会社ANA総合研究所)、地域貢献・連携(全日空株式会社徳島支店兼ANAあきんど株式会社)、観光地での美容と健康(株式会社ファンケル、ファンケル大学研究部)などをテーマに、グローバルスタディーズ学部の取り組みについて海外の事例を紹介しながら、地域活性化への貢献を目指し実施されました。

セミナーには20名を超える受講者が参加し、講師の話に熱心に耳を傾けていました。

第1回	6月2日(木)	観光の将来と大学の使命	グローバルスタディーズ学部 堂下 恵 教授
第2回	6月9日(木)	観光で健康に!~美しくイキイキとした体づくりを目指そう~	(株)ファンケル 須田 智美氏 宮尾 恵利奈氏
第3回	6月16日(木)	友人・親族訪問が地域観光を救う?	グローバルスタディーズ学部 李 崗 専任講師
第4回	6月23日(木)	地域創生とホスピタリティ	全日本空輸(株)兼ANAあきんど(株) 大山 芳香氏
第5回	6月30日(木)	ホスピタリティ	(株)ANA総合研究所 今村 康子氏
第6回	7月7日(木)	地域観光に関連する認定・登録制度がもたらすもの	グローバルスタディーズ学部 韓準祐 准教授
第7回	7月14日(木)	観光地における医療と防災	(一財)日本総合研究所 佐藤 和彦氏
第8回	7月21日(木)	カニバルツアーと文化の商品化	グローバルスタディーズ学部 太田 哲 教授



## グローバルスタディーズ学部生たちが地域イベントに参加

2022年5月28日(土)、藤沢駅北口サンパール広場で開催された「SDGsマルシェ in 湘南 Vol.4」に、グローバルスタディーズ学部(SGS)の学生19名が参加しました(4年生5名、3年生7名、2年生2名、1年生5名)。SDGs関連商品を展示・販売する2つのブース(Rainbow Factoryとたまじーズ)の出展に加え、農家レストランいぶきのブースのサポート、イベント全体の設営・片付け等の支援も行いました。昨年行われた第1回SDGsマルシェに参加していたメンバーたちにとっては、特に思い出深いイベントになりました。

同じく5月28日(土)と29日(日)、「ワイン用ブドウ「メイヴ」栽培・ワインづくりと多摩大学グローバルスタディーズ学部の地域活動の紹介」というテーマで、SGSと提携している株式会社ショーンンとともに「第20回ふじさわ産業フェスタ」に出展しました。

2022年度春学期プロジェクトゼミXII(「メイヴ」栽培・ワインづくり)を履修しているSGSの学生12名がブースに立ち、藤沢産ワイン用ブドウ「メイヴ」栽培やワインづくりについて説明しました。別の第3会場(多目的広場)ではLafayette、Fujisawa Cityアイテムの販売、ART MORIYAによる藍染めの体験ができるブースを本学部生がサポートしました。

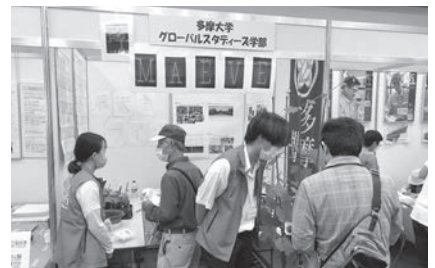
また6月11日(土)、藤沢駅北口サンパール広場で開催された「ふじさわ元気バザール」にSGS生10名が参加しました。ブースが15店並び、多くの方々が訪れ、買い物を楽しみました。SDGsマルシェ・コラボブースは4店舗あり、学生たちはSDGs関連の「農家レストランいぶき」のブースおよび「多摩大学たまじーズ」のブースに分かれて管理・運営を担いました。このような地域イベントは本学部生にとって非常に良い学びの場となっており、今後もこうしたイベントを機に本学部と藤沢市の皆さまとの協力やサポートの場を増やしていくことを目指します。



SDGsマルシェ



ふじさわ元気バザール



ふじさわ産業フェスタ

グローバルスタディーズ学部 学科長・教授・教務委員長 太田 哲

SGS では今年度より新カリキュラムがスタートしました。新カリキュラムにおける特徴は先ず、英語プログラムの改変です。旧カリキュラムの英語プログラム (AEP) は週4日8コマ設け1年次で修了することを前提に組まれていました。新カリキュラムでは1年次におけるAEPを週3日6コマとし、英語必修科目を2年次、学生によっては3年次まで伸ばすよう変更しました。英語学習の学習効果を考え、学生が継続的に英語学習ができるようになりました。また、グローバル時代に対応するため、第二外国語にスペイン語を加えました。SGS では中国語、韓国語、スペイン語を学ぶことができるようになりました。



新カリキュラムにおけるもう一つの特徴はプレゼミナールの設置です。この科目は1年生全員履修で学生同士の仲間づくりを促すことと大学で学ぶ上で必要なスタディーズスキルを修得することを目的としています。

共通一般科目においては、「社会調査入門」という科目を加えました。この科目とその他必要な科目を履修し単位習得すれば(一社)社会調査協会が認定する社会調査士の資格を卒業時に取得することができます。

専門教育においては従来のホスピタリティ・マネジメントコース、国際教養コースのどちらかをメジャー選択するという部分において変更はございませんが、コース内の科目を整理、新設し、学生にとってより分かりやすい選択となるよう工夫しました。ホスピタリティ・マネジメントコースでは、観光学を中心に観光の基礎、観光の応用、観光の最先端と段階的に学習できるようカリキュラムを整えました。それに加え、自文化・異文化理解の科目群を整理し、日本、世界の社会、文化等が学べるようになりました。

国際教養コースでは、グローバルビジネス・情報分野と国際教養分野という形で科目を整理しました。グローバルビジネス分野では「国際経済学」、「金融論」、「マーケティング論」、「国際会計論」などビジネスにおいて有用な科目を配置しました。情報関連分野では「情報処理Ⅰ・Ⅱ」、「AI・ゲーム・デジタル産業」などの科目を配置し、学生が将来ビジネス界で活用できるよう望んでおります。

新カリキュラムではキャリア、産業界に関する科目も整理、新設し、充実させました。1年次秋学期に学生全員が履修する「キャリア・アプローチ」という科目を新たに設置し学生に早期から卒業後の進路を考えてもらい、大学における学びに役立ててもらおうようデザインしました。2年次以降にはホスピ、国際教養両コースにおいて専門科目として業界入門という科目を用意し、各業界について詳しく学ぶことが出来ます。

英語教職課程についてもさらに充実させ、一人一人にケアが行き届くようカリキュラム編成を行っています。それに加え、日本語教師養成課程も作り、日本語教師の資格も得ることが出来るようになりました。

最後に新カリキュラムでは特別専修プログラム (Career Honors Program) を新たに設置しました。このプログラムは選抜制で、プログラムを履修する学生は専任のコーディネーターの指導の下、英語力の向上、専門分野の知識を深めます。また、海外提携校に1年もしくは半年交換留学をしてもらい、卒業後はグローバル企業、国際機関、国際NGO、日系企業海外営業、ホスピタリティ関連企業のマネージャー・幹部クラス、海外大学院留学などの進路を目指します。教職課程履修者のCHPも用意され、長期交換留学へ行くことが可能です。教職課程は履修必要科目が多く、長期交換留学はなかなか容易ではありません。他大学では教職課程を履修しながら長期交換留学に行き、4年間で卒業できるプログラムはあまりなく、今回英語教職課程履修者用にCHPが用意されたことによってSGSらしい英語教職課程となりました。

新カリキュラムがスタートしてまだ半年しか経っていませんが、学生一人一人に対してより目が行き届くようになり、学生の興味や視野を広げ、深めるよう教職員一丸となって努めています。

## 経営情報学部

### 長島剛ゼミ生が多摩ニュータウンの団地でメルカリ教室を実施

経営情報学部 長島剛教授のゼミ生が、豊ヶ丘商店街 (東京都多摩市) のコミュニティ拠点「健幸つながるひろばとよよん」において、2022年4月5日・19日の2日間、地域の高齢者を対象とした「みんなのメルカリ教室」を実施しました。「はじめてのメルカリ編」として、スマホを使ったメルカリの出品方法などについてレクチャーを行いました。また、5月12日には、株式会社メルカリの社員、長島ゼミ生、長島教授が参加し、今回の取り組みの振り返りと今後の展望について意見交換会を実施。これからも活動は継続していく予定となっています。

「みんなのメルカリ教室」は2日間の開催で、同地域に居住する11名の高齢者が参加しました。その動機として人との交流も目的の一つとして挙げられましたが、捨てがたい思い出のある品をこれからも活用してもらいたいと望んでいる人も多くいらっしゃいました。

このたびのメルカリ教室は、高齢化が進む多摩ニュータウンの活性化に寄与する活動の一環として企画されたものです。大学生と高齢者が「メルカリ」を通して信頼関係を構築し、多世代交流や地域コミュニティの活性化への貢献を目指します。

会場として使われた「健幸つながるひろばとよよん」は、団地の一角に位置する商店街の中にあり、高齢者が集まり住民同士で交流できる貴重な場所となっています。

今回、団地の一角で開催されたメルカリ教室は、初期入居から50年を超えた多摩ニュータウンの団地の課題解決に繋がる社会実験と位置づけることもできます。団地住民の高齢化が進む現状に、産学連携で地域を支える活動を同エリアの大学生が担う意味は大きいでしょう。



メルカリ教室の様子

## 小田急グループと多摩大学

## 小学生を対象とした「マチカドこども大学」をプレ開校

小田急多摩線栗平駅前のコミュニティ施設「CAFÉ & SPACE L.D.K」において、周辺地域の小学生を対象として本学の教授陣等が講師を担当する「マチカドこども大学」を企画しています。2022年6月18日にプレ開校し、2023年4月の本開校までの間に約10の講座やワークショップ等を開講する予定です。なお、この取り組みは、多摩大学、小田急電鉄株式会社（本社：東京都渋谷区 取締役社長：星野晃司）、小田急不動産株式会社（本社：東京都渋谷区 取締役社長：五十嵐秀）の3者が今年4月14日に締結した「連携協力に関する基本協定」のプロジェクトの一環として行われます。

栗平駅周辺は、閑静な街並みが広がる自然豊かなエリアで、子育て世代を中心に幅広い年齢層が流入しています。同駅前にある「CAFÉ & SPACE L.D.K」は、小田急不動産が2019年に開業したもので、多摩線の沿線住民が地域のコミュニケーションを育む場として「カフェ」「レンタルスペース」「ワークスペース」の3つの機能を備えています。

このたびプレ開校した「マチカドこども大学」は、コミュニティの希薄化などの地域における社会問題の研究やその解決を目的としたものです。

小学生を対象とし、講義やワークショップ、社会見学等を通じて、算数・国語・理科・社会等の科目に捉われない横断的な思考と探求型の学習を提供。「なぜ？」という疑問から「そうだ！」という気付きを経て、「もっと知りたい！」という探求心、「自分で調べよう！」という自発的な学びまで、学校では体験できない学びが得られます。

6月5日には多摩線エリアの小学生10名を招待のうえ試行講座を開講し、経営情報学部の樋笠堯士専任講師が「調査研究学」をテーマとして「調べ方」や「研究の仕方」を講義。参加した子どもたちは自ら考え、発言し、活発な意見交換を行いました。

今年度はプレ開校期間として約10講座を予定しており、これを通じて、地域への周知やニーズの調査、運営体制の構築等を行い、2023年4月の本開校に向けた体制を整備します。本開校後は周辺企業や地域住民の参加を促しコンテンツを創出するなど、地域一体となった活動を推進していきます。

なお、スクールの運営体制の構築から講師担当など、幅広い場面で多摩大学生が参画する機会を設けており、問題解決力を育むほか、小田急不動産社員とのフィールドワークを通じた教育効果も期待されています。



テーマ	日時	担当	対象
【国際文化学】クイズで知ろう！世界の生活	6月18日（土）	経営情報学部 石川ゼミ	小学生1～3年生
【英語遊び学】英語ゲームと折り紙で遊ぼう！	7月9日（土）	経営情報学部 石川ゼミ	小学生1～3年生
【中国語で学ぶ経済学】買い物ゲームで為替と中国語を学ぼう！	7月23日（土）	経営情報学部 長島ゼミ	小学生全学年
【防犯学】れっつ防犯！危険な場所を探してみよう！	8月7日（日）	経営情報学部 樋笠ゼミ	小学生4～6年生
【防災学】もし災害が起きたら…？	8月20日（土）	経営情報学部 樋笠ゼミ	小学生2～6年生
【英語学】Englishでshoppingにチャレンジ！	9月10日（土）	経営情報学部 石川ゼミ	小学生4～6年生
【交通学】自転車免許を取ろう！	9月17日（土）	経営情報学部 樋笠ゼミ	小学生2～6年生

## お知らせ

対面開催決定！

2022年

11/13日

多摩キャンパス

経営情報学部

## 第34回 多摩祭

創造

多摩大学「らしさ」を作るのは私たちだ。

開催時間：2022/11/13（日）10:30～16:30

前夜祭：2022/11/12（土）16:30～19:30（オンライン）

後夜祭：2022/11/13（日）16:30～18:30（ハイブリッド）

湘南キャンパス

グローバルスタディーズ学部

## 第16回 SGS Festa 2022

Again Face to Face

～SGS オンラインやめるってよ～

詳細はこちらから⇒

